



豊 崎

10月号

令和7(2025)年9月30日
大阪市立豊崎小学校

校長だより

先日、「甘やかし」について書かれた記事を目にしました。親として、大人として子どもをどこまで「甘やかし」でいいものか、また子ども自身にどこまで考えさせて頑張らせるのがいいのか、その線引きには難しいところがありますね。今回は、その記事の一部を紹介したいと思います。

○甘やかされて育った人の共通点

- ・自分に対する批判について敏感である。否定の言葉に対して強い拒否反応を示す。小さなミスや指摘にも過剰に反応し、「責められた」「悪く言われた」と深く傷ついてしまうことがある。
- ・相手の何気ない言葉、助言をネガティブに受け取り、逆に反論したり、攻撃的になってしまったりする。
- ・親や周囲が常にかばってくれる環境にいと、「自分が悪かった」と認める感覚が薄くなり、問題が起きた時に「誰のせいかな」と探す癖がついてしまう。

○社会に出てから…

- ・自分の考えや行動に対して改善を求められることは日常茶飯事であり、それすら受け止められない状態だと成長のチャンスを逃し、信頼をなくしてしまうことにつながる。
 - ・仕事上のトラブルに対して、自力で解決する努力をせずに、すぐ上司や同僚に頼ろうとする。「誰かがやってくれる、助けてくれる」という感覚が抜けないことが多い。そんな態度を続けると結果的に周りからは「責任感がない人」「機転が利かない人」とみなされてしまい、周囲との摩擦を生みやすくしてしまう。
 - ・仕事上の失敗を犯しても、「相手が悪い」「タイミングが悪かった」等外部要因のせいにして、責任から逃れる傾向がある。しかし、社会では原因がどうであれ、結果に対して責任を持つ姿勢が求められる。
- 「自立」を促していくために…
- ・周りの指摘や助言を、自分を成長させてくれるものと捉え、素直に耳を傾ける姿勢をもたせることが大切。
 - ・すぐに環境や人のせいにするのではなく、起きた問題に対してはしっかりと受け止め、改善しようと自身で努力させることが大切。

・子どもに対して、親や周りの大人自身が過干渉になりすぎていないか、意識を持つことが大切。他罰的になりがちな子どもに対してじっくりと話をする機会をとり、子どもたちが自らの言動について振り返ることができるようにしていくことが大切。

子どもが状況を見極めて判断・行動する機会というものに大人がやみくもに立ち入りすぎてしまって、成長の機会を奪うことになっていないか、過度な「甘やかし」にならないよう対応していくことが大切です。

行事予定



日	曜	行 事
1	水	防犯の日 遠足(中)
2	木	吉川鉄工所社会見学(3年) クラブ(アルバム撮影)
3	金	遠足(低)
6	月	ギャラリー表彰 C-NET 豊崎ふれあい喫茶(3年)
7	火	修学旅行
8	水	修学旅行 給食試食会
9	木	修学旅行予備日
10	金	PTAあいさつ運動
11	土	地域防災訓練
13	月	スポーツの日
14	火	遠足予備日(中)
15	水	いもほり(豊崎会館 2年) 就学時健康診断
16	木	豊崎オープンスクール(6年)
17	金	遠足予備日(低)
19	日	北区民カーニバル
20	月	ギャラリー表彰 研究授業(2年)
21	火	いもほり(2年) C-NET
22	水	こころの劇場(6年)
23	木	委員会
25	土	敬老お祝い会
28	火	運動会全体練習 C-NET
30	木	委員会(運動会)
31	金	えほんのじかん 運動会前日準備

11月の主な行事

1日(土) 運動会(4日(火)代休)
13日(木) スポーツ交歓会(6年)

9月のアルバム

1年生 中津支援学校との交流



あいさつ運動週間



2年生 町たんけん

